

令和4年度環境調査報告書

(ダイオキシン類編)

奈 良 県

目 次

1. 目 的	1
2. 測定方法	1
3. 調査結果	2
(1) 公共用水域 (水質・底質)	2
(2) 地下水	4

1. 目的

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条の規定に基づき、環境中の水質についてダイオキシン類の常時監視を実施した。

2. 測定方法

(1) 公共用水域（水質）

J I S K 0 3 1 2 に準拠。

(2) 公共用水域（底質）

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成 2 1 年 3 月 環境省 水・大気環境局水環境課編）」に準拠。

(3) 地下水

J I S K 0 3 1 2 に準拠。

3. 令和4年度の調査結果

(1) 公共用水域（水質・底質）

○測定地点・測定回数（水質・底質）

1) 水質

4水系9地点（大和川水系5地点、紀の川水系1地点、淀川水系2地点、新宮川水系1地点）において年1回実施した。

また、大和川水系において、1地点（藤井）では年4回実施した。

2) 底質

4水系10地点（大和川水系6地点、紀の川水系1地点、淀川水系2地点、新宮川水系1地点）において年1回実施した。

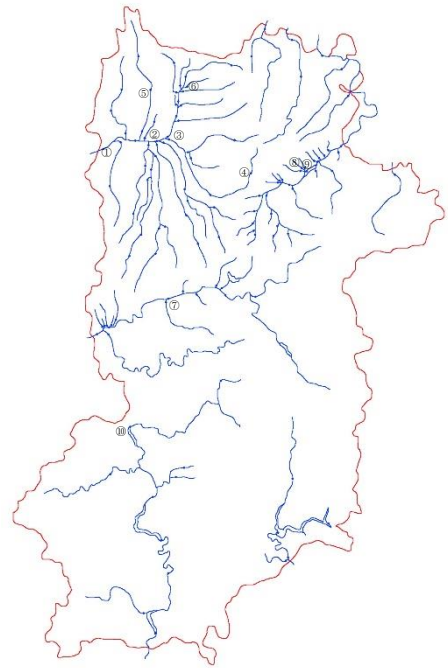


図1 ダイオキシン類常時監視地点
（公共用水域（水質・底質））

表 1 ダイオキシン類常時監視地点（公共用水域（水質・底質））

	測定地点			測定対象	測定回数
	水系名	河川名	地点名		
①	大和川	大和川	藤井	水質・底質	水質：4回/年 底質：1回/年
②	大和川	大和川	太子橋	水質・底質	1回/年
③	大和川	大和川	上吐田	水質・底質	1回/年
④	大和川	大和川	初瀬取入口	水質・底質	1回/年
⑤	大和川	富雄川	大和田橋	水質・底質	1回/年
⑥	大和川	菩提川	恋の窪	水質・底質	1回/年
⑦	紀の川	秋野川	秋野川流末	水質・底質	1回/年
⑧	淀川	宮川	宮川流末	水質・底質	1回/年
⑨	淀川	鰻守川	鰻守川流末	水質・底質	1回/年
⑩	新宮川	猿谷ダム湖	取水口	水質・底質	1回/年

○測定結果

1) 水質

全地点の平均値は 0.26pg-TEQ/L、年平均値の濃度範囲は 0.069~0.49pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を下回っていた。

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における1年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

2) 底質

全地点の平均値は 0.76pg-TEQ/g、年平均値の濃度範囲は 0.26~3.3pg-TEQ/g であり、全ての地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を下回っていた。

表 2 ダイオキシン類（公共用水域）測定結果（令和4年度）

	測定地点			ダイオキシン類毒性等量	
	水系名	河川名	地点名	水質 (pg-TEQ/L)	底質 (pg-TEQ/g)
①	大和川	大和川	藤井	0.34	0.26
				1.2	
				0.28	
				0.15	
②	大和川	大和川	太子橋	0.28	0.32
③	大和川	大和川	上吐田	0.25	0.39
④	大和川	大和川	初瀬取入口	0.24	0.36
⑤	大和川	富雄川	大和田橋	0.11	0.28
⑥	大和川	菩提川	恋の窪	0.099	0.46
⑦	紀の川	秋野川	秋野川流末	0.18	0.91
⑧	淀川	宮川	宮川流末	0.080	1.1
⑨	淀川	鰻守川	鰻守川流末	0.13	0.26
⑩	新宮川	猿谷ダム湖	取水口	0.069	3.3

<環境基準>水質：1pg-TEQ/L、底質：150pg-TEQ/g

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における1年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

(2) 地下水

○ 測定地点・測定回数

6 地点（4 市町）においてそれぞれ年 1 回実施した。

○ 測定結果

6 地点の平均値は 0.081pg-TEQ/L、濃度範囲は 0.044～0.15pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を下回っていた。



表 3 ダイオキシン類（地下水）測定結果（令和 4 年度）

測定地点		測定回数	ダイオキシン類 毒性等量 (pg-TEQ/L)
奈良市	奈良阪町	1 回	0.080
奈良市	芝新屋町	1 回	0.15
葛城市	中戸	1 回	0.066
葛城市	北花内	1 回	0.044
平群町	福貴畑	1 回	0.052
三宅町	屏風	1 回	0.096

< 環境基準 > 1pg-TEQ/L

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における 1 年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価



奈良県エコキャラクター な～らちゃん